



本事業は、SDGsの「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2024年10月17日(木)
愛知県政策企画局
国際課渉外・交流グループ
担当 上窪、中根
内線 2256、2446
ダイヤル 052-954-6181

愛知県経済産業局産業部
産業立地通商課国際業務企画グループ
担当 篠田、鈴木
内線 5296、5298
ダイヤル 052-954-6356

知事の中国渡航中の行事結果について

2024年10月16日(水)午前、知事は中華人民共和国広東省広州市において、新興電気自動車メーカーである小鵬汽車シャオペンキシヤを訪問し、中国における次世代自動車産業の最新動向などについて意見交換を行いました。

午後には、中国最大級の貿易見本市である中国輸出入商品交易会を視察しました。その後、広東省の省長と面談を行いました。

1 小鵬汽車訪問(担当:産業立地通商課)

(1) 日時

2024年10月16日(水)午前10時5分から午前11時20分まで

(日本時間10月16日(水)午前11時5分から午後0時20分まで)

(2) 場所

小鵬汽車本社(広州市)

(3) 応対者

小鵬汽車 周健しゅうけん 副総裁

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、中国の新興電気自動車メーカーである小鵬汽車を訪問しました。

始めに、周副総裁から事業概要の説明があり、『「人々により良いモビリティをもたらすこと」をビジョンに掲げ、中国国内のほかドイツやアメリカにも拠点を構えて研究開発に努めており、今後は、ヨーロッパ、東南アジア、中東での事業拡大を目指している。』と今後の展望について説明がありました。加えて、周副総裁は、主力のEV事業の他にも、自動運転やロボット、空中移動が可能な車の開発など、様々な分野での取組を進めていることを紹介し、『「未来モビリティの開拓者になりたい。」』と発言しました。

大村知事からは、現在、小鵬汽車が販売する6種類のEVについて、販売のメインターゲットや人気車種などを質問しました。周副総裁からは、『「より良い製品をより多くの方々に提供すべく、幅広い価格設定としている。スマート化した製品を低コス

トで生産することを目指している。」と同社のビジョンに沿った事業展開をしているとの回答がありました。その他、同社とドイツのフォルクスワーゲンとの資本・技術提携の話題なども含め、中国における次世代自動車産業の最新動向などについて意見を交わしました。

大村知事は、10月末にグランドオープンする「STATION Ai」の紹介のほか、「2025年6月に愛知県で開催される、国際的な産業展『アジア エキスポAXIA EXPO 2025』において、アジア諸国の企業や、愛知県の連携都市・政府などに出展いただくための『アジアパビリオン』というブースを設置するので、参加を御検討いただきたい。」とPRし、周副総裁は「検討させていただく。」と応じました。

面談後は、実際に販売されているEVが展示されているショールームを見学しました。大村知事はセダンやミニバン、SUVに乗車し、音声認識によるシート位置の操作などのスマート化された最新技術を体感しました。



周副総裁との面談の様子



ショールームの視察



周副総裁と記念品交換



出席者の皆さんとの記念撮影
(左から3人目が周副総裁)

<小鵬汽車概要>

(1) 設 立 2014年

(2) 代表者 かしょうほう 何小鹏

(3) 事業概要

- ・中国新興電気自動車メーカー。2023年の販売台数は約14万2千台。
- ・2023年、ドイツのフォルクスワーゲンとの資本・技術提携を発表。今後、同社の車両制御ソフトウェアを搭載したフォルクスワーゲン車などが開発される予定。
- ・海外市場はノルウェー、マレーシアで自動車の販売を開始済み。今後、シンガポール、オーストラリア、欧州市場などへの進出を目指している。

2 中国輸出入商品交易会視察（担当：国際課）

(1) 日時

2024年10月16日（水）午後2時30分から午後4時10分まで

（日本時間10月16日（水）午後3時30分から午後5時10分まで）

(2) 場所

広州国際会議展覽中心（広州市）

(3) 面談者

中国対外貿易センター党委員会 ちよしか 儲士家 書記兼主任

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、1957年から続く中国最大級の貿易見本市である、中国輸出入商品交易会（以下「広州交易会」という。）を視察しました。

大村知事は、視察に先立ち、中国対外貿易センターの儲士家主任と面談を行いました。

大村知事は、「中国最大級の貿易見本市である広州交易会を視察でき、嬉しい。愛知県も大規模国際展示場を有しており、イベントの開催・運営上の参考にさせていただきたい。愛知県は日本の産業首都であり、中国最大の産業集積地である広東省と共通の基盤があり、友好関係を一層深めたい。」と発言しました。これに対して、儲主任から、「広州交易会は中国でなく世界で最大級の貿易見本市だと考えている。日本からも多くの企業が出展している。広東省と愛知県はともに製造業の拠点であり、協力し合うことで更なる発展を目指すことができる。」と発言がありました。また、儲主任から、広東省以外の中国の地域とも友好関係を築いてほしいとの要請があり、大村知事は、「愛知県は江蘇省とも友好提携を締結しており、中国各地と友好関係を深めていきたい。」と応じました。

続いて大村知事は、広州交易会が創設されて以降の産業・製造業発展の歴史について説明を受けた後、現在開催中の家電製品及び機械等の出展エリアを視察しました。

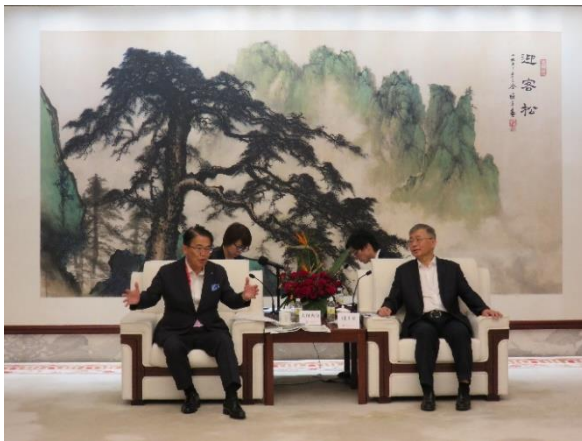
広州交易会には日本企業を始め非常に多くの人々が訪れており、数多くの出展ブースに商品が立ち並び、出展者が訪れたバイヤー等に対して熱心に商品について説明する光景が至る所で見られました。

＜中国輸出入商品交易会概要＞

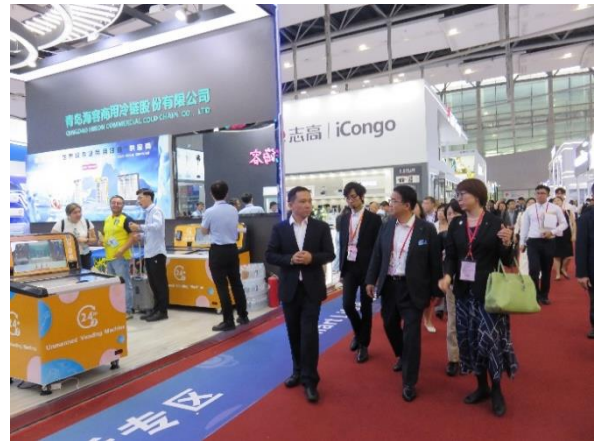
中国で最も歴史がある中国最大級の貿易見本市で、1957年に創設。広州交易会とも呼ばれ、春秋の年2回開催される。今秋の開催が136回目に当たる。

【2024年秋開催（第136回）】

- 開期：第1期 10月15日(火)～10月19日(土)（家電製品、機械等）※今回視察
- 第2期 10月23日(水)～10月27日(日)（ギフト、生活雑貨、陶磁器等）
- 第3期 10月31日(木)～11月4日(月)（食品、服飾、美容&医療用品等）
- 会場：広州国際会議展覽中心
- 主催：中華人民共和国商務部、広東省人民政府
- 共催：中国對外貿易センター



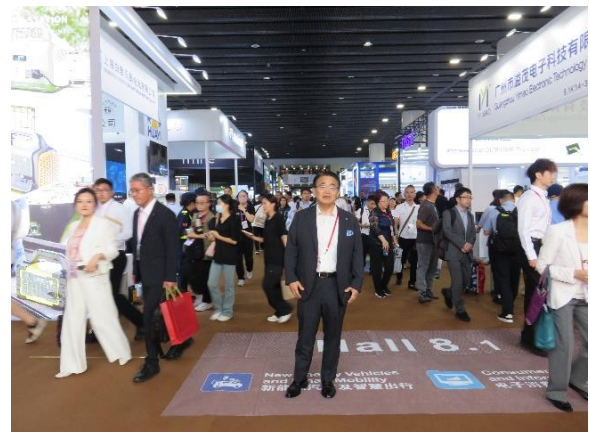
儲主任との面談の様子



会場視察の様子①



広州国際会議展覽中心前にて



会場視察の様子②



日本の家電メーカー 株式会社西哲^{セツツエ}
のブース視察



中国の小物家電メーカー リアリンク^{リアルリンク} REALINK
のブース視察



交易会の会場の様子（海外からの輸入品の展示）

3 広東省省長との面談（担当：国際課）

(1) 日時

2024年10月16日（水）午後5時30分から午後6時30分まで
（日本時間10月16日（水）午後6時30分から午後7時30分まで）

(2) 場所

広州ガーデンホテル（広州市）

(3) 応対者

おういちゅう 王偉中	広東省省長
ちようしん 張新	広東省副省長
たんへい 譚萍	広州市副市長
ちようか 張華	深圳市副市長 ほか

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事
きじまよしこ
貴島善子 駐広州日本国総領事

(5) 内容

大村知事は、本年、愛知県との友好提携5周年を迎えた広東省の王偉中省長と面談しました。

大村知事は、今回の広東省訪問の受入れ及び今年6月の黄寧生^{こうねいせい}広東省人民代表大会

副主任を始めとする友好訪問団の来県に対して感謝の意を示し、「王省長にも近いうちに愛知にお越しいただきたい。」と発言したところ、王省長は「愛知県を訪問する計画を早めに立てたい。訪問した際には、友好交流のプロジェクトについて意見交換をしたい。」と応じました。

また、大村知事は、「深圳で日本人学校の児童が刺殺された痛ましい事件については、深い悲しみを覚えており、被害者の御冥福をお祈りする。広東省を始め中国には非常に多くの愛知県企業が進出しているため、在中邦人、とりわけ子供たちの安全確保のための具体的な措置を引き続きお願いしたい。なお、深圳では、多くの市民が花をたむけるなど哀悼の意を表していただいている。両国民の間には、こうした相互に思いやる気持ちがあり、これからも日中関係を前に向けて進めていきたい。」と発言しました。

これに対し、王省長は、「広東省の深圳でこうした痛ましい事件が発生したことは、とても不幸なことで、誠に遺憾であり、我々も心を痛めている。広東省では、日本を始め外国の児童に対しても力を尽くしてその安全を確保しており、引き続き力を注いでいきたい。」と発言しました。

さらに、大村知事は、愛知県が世界有数のものづくりの地域であり、広東省に約200社が進出していること、特に自動車産業が集積しておりトヨタ自動車と広州汽車等との提携が順調に進んでいることは喜ばしいとした上で、2025年6月に愛知県で開催する国際的な産業展「AXIA EXPO 2025」のアジアパビリオンの広東省の企業及び政府機関の出展を呼びかけたほか、10月末にオープンする日本最大のスタートアップ支援拠点である「STATION Ai」、清華大学とのスタートアップ支援やイノベーション創出に関する連携等について紹介しました。

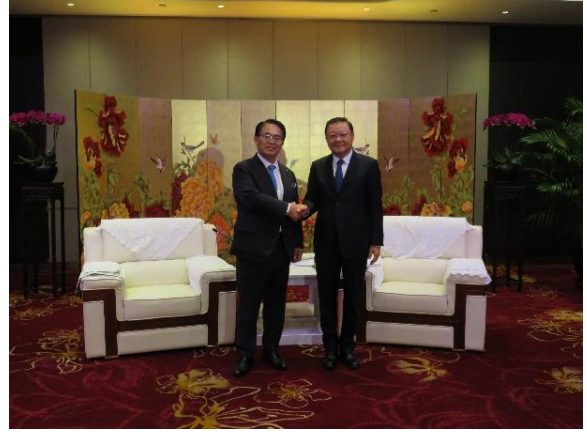
続けて、大村知事は、「広東省とは、高校生の相互派遣など若い世代を中心とした交流を進めている。また、愛知県には約5万人の中国人の方が居住されており、毎年1月の「名古屋中国春節祭」は約20万人が来場する日本で最大のものであり、中国との関係が深い地域である。」と発言しました。

王省長は、「愛知県は製造業、特に自動車産業が盛んで、広東省とも産業基盤が共通しており、さらに新しい分野での協力を開拓したい。高校生の交流は素晴らしいものであり、広東省には160もの大学があり、大学間の交流も進めていきたい。また、広東省には観光が好きな人が多く、観光面でも交流ができると思う。今後とも色々な面で協力していきたい。」と発言し、それに対して大村知事は、「愛知県と広東省は、それぞれの国における位置づけ、産業基盤など共通点も大変多く、交流関係を更に強化していきたい。」と応じました。

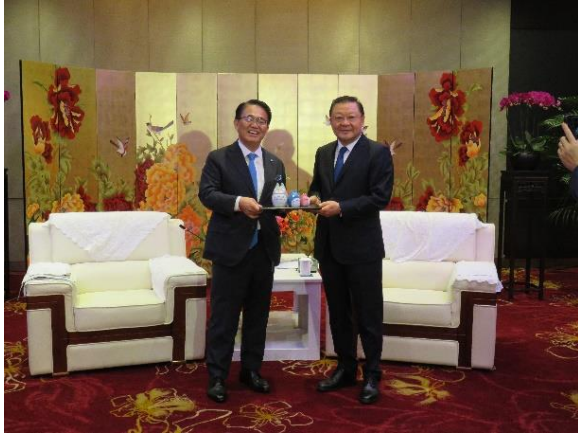
最後に、大村知事はジブリパークについて紹介し、改めて王省長の愛知県訪問を呼びかけました。



王省長との面談の様子



王省長との記念撮影



王省長と記念品交換



出席者の皆さんとの記念撮影
(左から3人目が貴島総領事、8人目が王省長)